

平成26年度
(2014年度)

熊本大学大学院社会文化科学研究科

教授システム学専攻

博士前期課程

学 生 募 集 要 項

《 一 般 入 試 》

《 社 会 人 入 試 》

《外国人留学生入試》

熊本大学



アドミッション・ポリシー

教授システム学専攻（博士前期課程）は、幅広い教養と読解力・理解力・表現力などの基礎学力の上に、教授システム学を修得したeラーニングの専門家になるための適性を有し、かつ厳しい勉学に耐え得る強い意志と学習意欲のある人を求めます。さらに社会人にあっては、豊かな社会経験を有する人を求めます。かつ、次のようなコンピテンシーを身につけることをめざす人を求めています。

1. さまざまな分野・領域におけるeラーニング事例をふまえ、教授システム学の基礎的知見に照らし合わせてコース開発計画書を作成し、ステークホルダごとの着眼点に即した説得力ある提案を行うことができるようになることをめざす人
2. LMSなどの学習支援システムの機能を活かして効果・効率・魅力を兼ね備えた学習コンテンツが設計でき、開発できるようになることをめざす人
3. 開発チームのリーダーとして、コース開発プロジェクトを遂行できるようになるとともに、人事戦略やマーケットニーズに基づいて教育サービス・教育ビジネスの戦略を提案できるようになることをめざす人
4. ネットワーク利用に関わる法律的・倫理的な問題を認識し、解決できるようになることをめざす人

目 次

I. 募集人員	1
II. 試験日程等の概要	1
III. 試験日時及び試験場	1
IV. 入試区分	
一般入試	3
社会人入試	4
外国人留学生入試	5
V. 共通事項	
1. 出願期間等	6
2. 提出書類等	6
3. 検定料の払込方法	7
4. 合格者発表	8
5. 入学手続等	9
6. 長期履修制度	9
7. 奨学金	9
8. 教育訓練給付制度	9
9. 国際交流会館入居申込み方法	10
10. 注意事項	10
11. 問合せ先	10
出願資格認定審査	11
個人情報	11
研究テーマ例	12
熊本会場	13
東京会場	15
入学志願票記入上の注意	16

添 付 書 類

- ①入学志願票
- ②写真票・受験票・住所票
- ③研究計画書
- ④検定料受付証明書貼付台紙
- ⑤検定料払込用紙

I. 募集人員

専攻	学位	募集人員 (一般入試・社会人入試・外国人留学生入試)
教授システム学専攻	修士(教授システム学) 又は 修士(学術)	15人

注) 1. 募集人員は、すべての選抜の合計です。

2. 専攻の特色及び研究組織等については、本専攻のウェブサイト

<http://www.gsis.kumamoto-u.ac.jp/index.html> をご覧ください。

II. 試験日程等の概要

出願期間	平成26年1月6日(月)から1月9日(木)17時(必着)まで
試験日	熊本会場 平成26年2月14日(金)・2月15日(土) 東京会場 平成26年2月15日(土)・2月16日(日)
合格者発表	平成26年2月21日(金)
入学手続期間	合格通知書送付の際にお知らせします

III. 試験日時及び試験場

1. 試験日時・試験科目

[熊本会場]

試験日	入試区分	試験科目及び試験時間
平成26年 2月14日(金)	一般入試 社会人入試 及び 外国人留学生入試	口述試験 9:30~
平成26年 2月15日(土)	一般入試	小論文 10:00~12:00 外国語(英語) 13:30~14:30
	社会人入試 及び 外国人留学生入試	小論文 10:00~12:00

[東京会場]

試 験 日	入 試 区 分	試 験 科 目 及 び 試 験 時 間
平成26年 2月15日(土)	一 般 入 試	小論文 10:00~12:00 外国語(英語) 13:30~14:30 口述試験
	社 会 人 入 試 及 び 外 国 人 留 学 生 入 試	小論文 10:00~12:00 口述試験
平成26年 2月16日(日)	一 般 入 試 社 会 人 入 試 及 び 外 国 人 留 学 生 入 試	口述試験 9:30~

- 注) 1. 口述試験実施の詳細は、受験票送付時に併せてお知らせします。
2. 東京会場では、2月15日(土)の筆記試験終了後に、口述試験を行う可能性があります。
その場合は、2月16日(日)の口述試験は行いません。

2. 試験場

以下のいずれかの会場で受験してください。(出願後の会場変更は認めません。)

なお、すべての試験科目を同一の会場で受験する必要があり、科目ごとに異なる会場で受験することは認めません。

[熊本会場]

熊本大学 黒髪北キャンパス(会場については、受験票送付時に併せてお知らせします。)
〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目40番1号
TEL 096-342-2326

[東京会場]

キャンパス・イノベーションセンター
〒108-0023 東京都港区芝浦3丁目3番6号
TEL 03-5440-9093

IV. 入試区分

一 般 入 試

1. 出 願 資 格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び平成26年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び平成26年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成26年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成26年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成26年3月までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成26年3月までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）（注1）
- (8) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成26年3月31日までに22歳に達しているもの（注2）
- (9) 大学に3年以上在学した者であって、本学の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの
- (10) 外国において学校教育における15年の課程を修了し、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者であって、本学の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの

（注1）防衛大学校、水産大学校、海上保安大学校、気象大学校の卒業（見込）者など

（注2）(8)の審査対象者は、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校（外国大学日本分校、外国人学校など）の卒業生、その他の教育施設の修了者などです。

【出願資格認定申請】

上記の**出願資格(8)、(9)又は(10)により出願しようとする場合は**、事前に**出願資格認定審査**を行うため、11ページの要領で審査の申請を行ってください。

2. 選 抜 方 法

入学者の選抜は、書面審査、筆記試験、口述試験の成績及び提出書類を総合して行います。

書 面 審 査	筆 記 試 験	口 述 試 験
学習・研究・業務等の実績を示すもの及び研究計画等について審査する。	小論文 (IT分野、教育分野に関する課題から1課題を選択) 外国語（英語）	学習・研究・業務等の実績を示すもの及び研究計画等の内容について行う。

社会人入試

1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者で、平成26年3月31日において、2年以上の社会経験を有するもの(有職者に限らない)

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (7) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)(注1)
- (8) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成26年3月31日までに24歳に達しているもの(注2)
- (9) 外国において学校教育における15年の課程を修了し、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者であって、本学の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの

(注1) 防衛大学校、水産大学校、海上保安大学校、気象大学校の卒業(見込)者など

(注2) (8)の審査対象者は、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校(外国大学日本分校、外国人学校など)の卒業生、その他の教育施設の修了者などです。

【出願資格認定申請】

上記の**出願資格(8)又は(9)により出願しようとする場合は**、事前に**出願資格認定審査**を行うため、11ページの要領で審査の申請を行ってください。

2. 選抜方法

入学者の選抜は、書面審査、筆記試験、口述試験及び提出書類を総合して行います。

書 面 審 査	筆 記 試 験	口 述 試 験
学習・研究・業務等の実績を示すもの、研究計画等、専門分野に関連する業務経歴等について審査する。	小論文 (IT分野、教育分野に関する課題から1課題を選択)	学習・研究・業務等の実績を示すもの及び研究計画等の内容について行う。

外国人留学生入試

1. 出願資格

日本国籍を有しない者で、次の各号のいずれかに該当するもの

- (1) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成26年3月までに修了見込みの者
- (2) 大学を卒業した者及び平成26年3月までに卒業見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成26年3月までに修了見込みの者
- (4) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成26年3月31日までに22歳に達しているもの
- (5) 外国において学校教育における15年の課程を修了し、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者であって、本学の定める単位を優秀な成績で修得したと認められたもの

〔出願資格認定申請〕

上記の**出願資格(4)又は(5)**により出願しようとする場合は、事前に**出願資格認定審査**を行うため、11ページの要領で審査の申請を行ってください。

2. 外国人志願者の在留資格について

社会文化科学研究科は「通学制」の研究科ですが、教授システム学専攻（博士前期課程・博士後期課程）は、インターネットを用いた遠隔授業を行っているため、教授システム学専攻（博士前期課程・博士後期課程）に入学することにより、「出入国及び難民管理法」に基づく在留資格「留学」を取得することはできません。

出願にあたっては、教授システム学専攻（博士前期課程・博士後期課程）で学習するのに支障のない在留資格をすでに取得しているか、入学後に取得できることが必要です。

3. 選抜方法

入学者の選抜は、書面審査、筆記試験、口述試験及び出願書類を総合して行います。

書 面 審 査	筆 記 試 験	口 述 試 験
学習・研究・業務等の実績を示すもの及び研究計画等について審査する。	小論文 (IT分野、教育分野に関する課題から1課題を選択)	学習・研究・業務等の実績を示すもの及び研究計画等の内容について行う。

V. 共通事項

1. 出願期間等

- (1) 平成26年1月6日(月)から1月9日(木) 17時〔必着〕
- (2) 封筒の表面に「大学院社会文化科学研究科教授システム学専攻(博士前期課程)出願書類在中」と朱書きし、「書留速達」で郵送してください。
※持参は受け付けません。必ず郵送してください。
 〔提出先〕〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目40番1号
 熊本大学学生支援部入試ユニット (電話) 096-342-2146

2. 提出書類等

志願者は、次の書類等を一括して提出してください。

提出書類等	提出該当者	摘 要
入学志願票	全 員	所定用紙：P.16の「記入上の注意」を参照してください。
写真票・受験票・住所票	全 員	所定用紙
写 真 (2 枚)	全 員	写真は、縦4cm×横3cm、上半身脱帽正面向きで出願3ヶ月以内に撮影したものを写真票及び受験票に貼ってください。
卒業証明書又は卒業見込証明書等	全 員	卒業証明書又は卒業見込証明書等、出願資格を証明するものを提出してください。
成 績 証 明 書	全 員	出身大学学部長が作成し、厳封したもの。大学院修了(見込み)者は大学院の成績証明書も併せて提出してください。
学習・研究・業務等の成果を取りまとめたレポート	全 員	今までの学習・研究・業務等の成果を取りまとめたレポート(和文3000字程度。ただし、図表は字数に含まない。)を、A4版の用紙を用いて提出してください。 卒業論文、著書・研究論文等の研究業績、本専攻に関連する業務報告書、作成した教材その他の制作物等が提出可能な場合は、添付してください。添付する提出物は、紙媒体を原則としますが、紙媒体に加えて電子媒体による提出も認めます。電子媒体を提出する場合の条件は、(注)4.のとおりですので、厳守してください。 なお、提出物(電子媒体を含む)は、一切返却しません。
研 究 計 画 書	全 員	所定用紙：1. 本専攻での研究計画(800字~2000字程度) なお、計画立案に際しては、12ページの研究テーマ例を参照してください。 2. 修了後のキャリアプラン(400字程度) ワープロ原稿を貼り付けても差し支えありません。ただし、はがれないように貼り付けてください。
日 本 語 能 力 試 験	外国人留学生入試の志願者(任意提出)	日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書の写しを提出してください。
専門分野に関連する資格に関する証明書	全 員(任意提出)	専門分野に関連する資格に関する証明書の写しを提出してください。

外国語（英語）に関連する資格に関する証明書（TOEIC, TOEFL 等）	社会人入試又は外国人留学生入試の志願者（任意提出）	成績通知書等の写し（TOEIC, TOEFL については IP, ITP を除く正式スコアの写し）を提出してください。
検 定 料	全 員	30,000 円 ：綴じ込みの払込用紙を使って、郵便局又は銀行の窓口で払い込んでください。検定料受付証明書を検定料貼付台紙に貼ってください。
受 験 票 返 送 用 封 筒	全 員	定形封筒（長形 3 号）に郵便番号・住所・氏名を明記し、360 円分（速達料金を含む）の切手を貼ったもの。
住民票の写し（法改正により 2012 年 7 月 9 日以降は「外国人登録原票記載事項証明書」に代わり「住民票の写し」が交付されます。）	外国人留学生入試の志願者	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人の志願者は市区町村長発行の在留資格及び在留期間を明記した「住民票の写し」を提出してください。 ・出願者以外の世帯員については、証明不要です。 ・出願時に日本国内に在住していない者は、旅券の写しを提出してください。

- (注) 1. 出願書類を受理した後は記載事項の変更及び検定料、出願書類の返還等はできません。
2. 提出書類等に不備がある場合には、受理しないことがあります。
3. 提出書類等に虚偽の記載又は不正な申告があった場合は、入学許可を取り消すことがあります。
4. 電子媒体を提出する場合、電子データを記録した DVD(DVD-R, DVD-RW+/-等を含む)として提出してください。その際、電子データは DVD 1 枚に収まる分量とし、同一内容の DVD 2 枚を提出すること。提出された DVD については、ネットワークに接続されていない下記の仕様のパーソナル・コンピュータ (PC) で、Microsoft Internet Explorer により閲覧します。
- 提出された DVD が下記の仕様で閲覧できない場合、閲覧するための特別の措置を取ることはありません。なお、DVD の提出に関する質問・照会には一切応じません。
- CPU Intel Core2 Duo T8100 2.10GHz, メモリー 2.00GB, DVD/CD-ROM,
Mobile Intel(R) 965 Express Chipset Family
Microsoft Windows Vista Ultimate Service Pack 2,
Microsoft Internet Explorer Ver.7 (Active Script 利用可),
Adobe Reader9, Adobe Flash Player10, Adobe Shockwave Player11.5,
Microsoft Windows Media Player11, RealNetworks RealPlayer11,
Sun Java Runtime Environment6
5. 外国人志願者の場合、入学志願票の履歴事項欄の学歴については、受けた学校教育のすべてを記入してください。また、提出書類（研究論文（業績）等を除く。）のうち、外国語で書かれたものは、**全て日本語の訳文を添えてください。**
6. 改姓等により現在の氏名と証明書の氏名が異なる場合は、戸籍抄本を併せて提出してください。

3. 検定料の払込方法

- (1) 検定料 30,000円
- (2) 払込期間
平成26年1月6日（月）から1月9日（木）まで
- (3) 払込場所
郵便局又は銀行の窓口
振込手数料は、志願者本人の負担となります。
※ATM（現金自動預払機）は使用不可。必ず窓口で払い込んでください。
- (4) 払込方法
 - ① 綴じ込みの「検定料払込用紙」に必要事項を記入して、必ず郵便局又は銀行の窓口【ATM（現金自動預払機）は使用不可】で払い込んでください。
 - ② 払込後、窓口で受領した「検定料受付証明書」を「検定料受付証明書貼付台紙」に確実に貼り付けて提出してください。
- (5) 出願に際しての留意事項
 - ① 検定料が払い込まれていない場合又は払込済の「検定料受付証明書」が「検定料受付証明書貼付台紙」の所定の欄に貼り付けていない場合は出願を受理しません。
 - ② 出願書類を受理した後は、次の場合を除き、いかなる理由があっても払込済の検定料は返還しません。
 - (ア) 検定料を払い込んだが、出願しなかった（出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合
 - (イ) 検定料を誤って二重に払い込んだ場合

返還請求の方法

返還請求の理由、志願者氏名（氏名の右側に押印願います）、志望大学院、現住所、郵便番号、連絡電話番号、振込口座〔銀行名（ゆうちょ銀行を除く）、支店名、普通預金の口座番号、口座名義（ふりがなも記入ください）、志願者氏名と口座名義が異なる場合は志願者との続柄〕を明記した検定料返還請求願（様式は問わない）を作成し、必ず「検定料受付証明書」を添付して、速やかに郵送してください。

送付先 〒860-8555
熊本市中央区黒髪2丁目39番1号
熊本大学運営基盤管理部財務ユニット収入・支出チーム

4. 合格者発表

平成26年2月21日（金）11時

熊本大学のウェブサイト（<http://www.kumamoto-u.ac.jp>）に合格者の受験番号を掲載（11時頃の予定。当日の通信環境の状況等により遅れる場合があります。）するとともに、合格者には合格通知書を送付します。不合格者に対する通知は行いません。

合格通知書の氏名については、コンピュータに登録する際に慣用字体を用いますので、入学志願票の表記と異なる場合があります。また、対応できない場合は、カタカナで表記しますのでご了承ください。電話等による合否の照会には一切応じません。

5. 入学手続等

入学手続の詳細については、合格通知書発送の際に同封します。

(1) 入学手続期間

入学手続期間及び方法については、合格通知書発送の際にお知らせします。

(2) 入学手続時の注意事項

入学手続期間中に入学手続をしなかった者は、入学を辞退したものとして取り扱います。

(3) 入学手続時の必要経費

入学料（予定額） 282,000円

(注) 1. 入学料の額，入学料の納入方法，入学料免除及び徴収猶予制度については，合格通知書送付の際にお知らせします。

(4) 入学手続に必要な書類等

①誓約書 ②保証書 ③カラー顔写真（縦4cm×横3cm）

(5) 授業料（予定額）

前期分 267,900円（年額 535,800円）

(注)1. 授業料の納入方法，授業料免除制度については，合格通知書送付の際にお知らせします。

2. 入学時及び在学時に授業料の改定が行われた場合には，改定時から新授業料が適用されます。

6. 長期履修制度

本研究科では、職業を有していたり、育児、介護等の事情を有している等により、標準修業年限（2年）を超えて一定の期間（最大4年まで）にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することを願った者については、審査の上許可することがあります。この制度の適用者は、「長期履修学生」といい、当該学生の授業料支払総額は、標準修業年限による修了者と同じになります。

この制度の詳細については、「11. 問合せ先」にお問い合わせください。

7. 奨学金

日本学生支援機構奨学生に出願し、選考の結果により第一種奨学金（平成25年度は、月額50,000円、88,000円から選択）、又は第二種奨学金（平成25年度は、月額50,000円、80,000円、100,000円、130,000円、150,000円から選択）の貸与を受けることができます。詳細については、下記へお問合せ下さい。

〔問合せ先〕 〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目40番1号
熊本大学学生支援部学務ユニット経済支援担当
(電話) 096-342-2125

8. 教育訓練給付制度

教授システム学専攻（博士前期課程）は、平成19年4月1日から「教育訓練給付制度」の対象講座として指定を受けました。この制度は、一定の条件を満たす雇用保険の一般被保険者（在職者）又は一般被保険者であった方（離職者）が、本専攻を修了した場合、教育訓練施設（本専攻）に支払った教育訓練経費（入学金及び授業料）の2割（支給要件期間が3年以上 上限10万円）に相当する額をハローワーク（公共職業安定所）から支給されます。

この制度の詳細は、最寄りのハローワーク又は本学学務ユニット経済支援担当（096-342-2126）まで、お問い合わせください。

9. 国際交流会館入居申込み方法

外国人志願者で入学後、国際交流会館への入居を希望する者は、次のとおり申し込んでください。入居期間は、原則として1年以内とします。なお、不合格になった場合は、入居することができません。

(1) 入居申込書請求方法

国際戦略ユニットの窓口で受け取るか、郵送またはE-mailで請求してください。郵送で請求する場合は、封筒の表に「国際交流会館入居申込書請求」と朱書きし、返信用封筒〔定形封筒（長形3号，23.5cm×12cm）に宛先を明記し，郵便切手80円を貼ったもの〕を同封してください。

(2) 入居申込書提出期日

平成26年2月7日（金）まで

(3) 請求（照会）先・提出先

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目40番1号
熊本大学マーケティング推進部国際戦略ユニット
電話番号 096-342-2103
F A X 096-342-2130
E-mail gjj-ryugaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp

10. 注意事項

- (1) 障がいや有する入学志願者で、受験上及び修学上特別な配慮を希望する場合は、平成25年11月29日（金）までに、人文社会科学系事務ユニット社会文化科学研究科教務担当へ相談してください。
- (2) 受験の際は、受験票を必ず持参してください。また、試験中は、携帯電話等の電源を切ってください。
- (3) やむを得ない理由で試験開始時刻に遅刻した場合、試験開始後30分以内であれば受験を認めます。
- (4) 試験時間終了まで退室は認めません。
- (5) 不正行為をした者の解答は無効とし、以後の受験は認めません。
- (6) 机上には、受験票・筆記用具・消しゴム・時計（計時機能だけのもの）・鉛筆削り（電動式を除く）以外は置かないでください。
- (7) 受験票は、入学手続の際にも必要ですので、紛失、汚損等のないようにしてください。

11. 問合せ先

出願及び受験に関する問合せ先

熊本大学教育研究推進部人文社会科学系事務ユニット
社会文化科学研究科教務担当
(電話) 096-342-2326 (FAX) 096-342-2310
(E-mail) jsj-daigakuin@jimu.kumamoto-u.ac.jp

○出願資格認定審査

〔出願資格認定申請が必要な者〕

『一般入試』の出願資格(8)、(9)又は(10)、『社会人入試』の出願資格(8)又は(9)、『外国人留学生入試』の出願資格(4)又は(5)により出願しようとする者は、以下の要領で審査の申請を行ってください。

(1) 出願資格認定審査に必要な書類

- ① 出願資格認定審査申請書 ※[所定の用紙]
- ② 最終学校の卒業(修了)証明書
- ③ 最終学校の成績証明書
- ④ 履歴書 ※[所定の用紙]
- ⑤ 研究等従事内容証明書 ※[所定の用紙] (該当する事項があれば提出してください。)
- ⑥ 返信用封筒(出願資格認定審査結果通知用)
定形封筒(長形3号)に、申請者の郵便番号・住所・氏名を明記し、350円分の切手を貼ったもの。

(注) 改姓等により、現在の氏名と証明書の氏名が異なる場合は、戸籍抄本を添付してください。

※①④⑤の〔所定の用紙〕については、熊本大学大学院社会文化科学研究科教授システム学専攻のウェブサイト (<http://www.gsis.kumamoto-u.ac.jp>) からダウンロードできます。

(2) 資格認定審査申請書等の受付期間

平成25年11月25日(月)から11月29日(金)まで

(注) 封筒の表面に「大学院社会文化科学研究科教授システム学専攻(博士前期課程)出願資格認定審査申請書類在中」と朱書きし、「書留速達」で郵送してください。持参は受け付けません。必ず郵送してください。

[照会先・提出先] 〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目40番1号
熊本大学教育研究推進部人文社会科学系事務ユニット
社会文化科学研究科教務担当
電話番号 096-342-2326

(3) 資格審査の結果

資格審査の結果は、平成25年12月16日(月)までに本人宛て通知します。

○個人情報

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報については、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用します。

- (1) 合格者の氏名等を入学手続に係わる業務で利用します。
- (2) 入学手続者の氏名等を入学後の学籍管理など修学に係わる業務で利用します。
- (3) 入学手続者及び学資負担者の住所・氏名等を授業料徴収など納入金管理に係わる業務で利用します。
- (4) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を、入学料免除・授業料免除及び奨学生選考など修学支援に係わる業務で利用します。
- (5) 個人が特定できないように統計処理したデータを、入学者選抜に関する調査・研究等で利用します。

※ 本学が取得した個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

○研究テーマ例

1. ストーリーによる意欲向上を意図した社会人向けオンライン語学学習の設計と開発
2. LMS の外部での学習行動を統合する Web 閲覧履歴ツールの開発
3. 学習オブジェクトモデル拡張の研究
4. 営業力強化に向けたワークプレイスラーニングのデザイン
5. 映像の教育効果に関するデータベースの構築と e ラーニングへの応用
6. e ラーニングが組織変革に与える影響と変革指標の考察
7. 高等教育機関における e ラーニングを活用した教育活動の効果的な組織体制とマネジメントに関する研究
8. 大学通信教育課程におけるメディアを活用した授業の要件に関する研究
9. 自己主導的な学習内容選択を支援する Moodle の課題分析図 UI の開発
10. e ラーニング教材におけるページ構造のあり方に関する研究
11. 大学受験予備校でのモバイルラーニングにおける英語学習支援
12. e ラーニングに求められるパーソナライゼーションに関する研究
13. 仮想学習環境における問題解決型学習を促進するための分析的ループリックを使った自己モニタリングと自己アセスメントの試み
14. 大学におけるアウトソーシングを活用した e ラーニング業務の支援体制についての研究
15. 「科目ガイダンス」VOD を基軸とした全学的な e ラーニング推進に関わる研究
16. e ラーニング XHTML エディタ eXe の SCORM テスト作成機能の拡張
17. インストラクショナル・デザインに基づいた e ラーニング導入支援者のための ARCS+AT チェックリストの提案
18. e ラーニングによる大学入学前の文章トレーニング教材の開発
19. コンセプトマップを活用した非同期型 e ラーニング学習の設計 ―構造的理解を深めるツールとしての効果的な導入―
20. ストーリー中心型カリキュラムによる実務家育成教材の設計・開発
21. トレーニング・ニーズアセスメントのための ID 活用型インタビュー手法に関する研究 ―人材育成事業者における実践を通じて―
22. メタ認知向上を目指した新たな成人学習モデルの提案と検証
23. ゴールベースシナリオ (GBS) 理論に基づく情報活用育成教育の実践
24. OPTIMAL モデルによる e ラーニング作成支援ツールの開発
25. 自主的な学習を促す ID に基づく学習ポータル設計 ―MR 教育者が学習する「場」を考える―
26. マイクロブログを利用したリフレクション支援システムの開発
27. 企業内教育における対面型研修の形成的評価の質を高める研修観察支援ツールに関する研究

※過去の修了生の研究テーマは、下記 URI のページで各年度の「学生」タブをクリックするとご覧いただけます。

http://www.gsis.kumamoto-u.ac.jp/research_info/index.html

